



WEEKLY REPORT No.1302

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1527回例会

委員長所見

平成27年7月16日(木)  
於 名古屋東急ホテル  
出席計算数 53名中46名出席  
出席率 86・79%  
前々回出席率 94・84%

例会プログラム

- ★15-16年度 派遣青少年交換学生壮行会
- ★宇野職業奉仕委員長 海外例会(香港・深圳) 及びWFF(案内)
- ★吉田憲一親睦活動委員長 納涼夜間例会(案内)
- ★石崎R財団米山記念奨励学委員長 澤屋奈津子さん

★委員長所見

「ロータリーソング」

指揮者 鬼頭 茂成  
ピアノ伴奏 富根 玲子

「ゲスト」

15-16年度派遣青少年交換学生  
渡辺 玄くんお母様 渡辺 玄くん  
渡辺 玄くんお母様 渡辺 由美さん

「ニコソックス」

玄がブラジルに派遣されます。よろしくお願ひします。渡辺 観永

(ゴルフ例会) やっと優勝出来ました。 中原 康雄  
7月14日三好カントリー倶楽部  
西コース、スコアは良いとはいえませんが、すばらしいロケーションで気分がよいゴルフができました。荻葉さんありがとうございました。  
岡田 尚彦  
三好(カントリー) きつかったです。  
吉田明夫さん、春日井さん、ごちそう様でした。 柴岡 正将  
吉田明夫さん、昨日はありがとうございました!! 春日井和良  
眞土の土産にワインブルドンへ行ってきました。 浅井 隆宣  
今日娘の誕生日です。16才になりました。 宇野 史仁  
ふれあい交通安全教室、ありがとうございました。 桑山 光俊  
田崎会長、丹下幹事、ご苦労様です! 岡部 快圓

田崎会長、丹下幹事、一年間よろしくお願ひします。 岡村 隆徳  
社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団・米山記念奨励学委員長、各委員長様、所見よろしくお願ひいたします。  
田崎 雅三・丹下 富博  
酒井 修・東滝 卓也

「会長挨拶」

会長 田崎 雅三

今日は博報堂生活総合研究所さんが、面白いテーマを発表されていますのでご紹介したいと思います。



それは、年齢から暮らしの変化を眺める「生活寿命」というユニークな指標です。  
年をとるとともに、あることができなくなったり、しなくなったりすることがあります。たとえば、新しい店がオープンしても関心が持てなくなったり、ドライブをしたくなくなるといったことです。それは、必ずしも体力が落ちてくるためではありません。他人の目が気になったり、それを避けるための動機や知識がなくなったり、さまざまな意識や暮らし方などの生活要因がからみ合っておきていることが多いものです。

このようにある生活行動ができなくなったり、したくなくなる年齢を、その行動の「生活寿命」として調査したことです。少しご紹介します。

【自転車寿命】 8才5カ月

まわりから自転車に乗るのをやめるよう言われるようになる

【信玄ダッシュ寿命】

48才10カ月

横断歩道の青信号が点滅し始めた時、渡ることをためらうようになる

【オープン寿命】 50才11カ月

新規開店の店や商業施設に行ってみようと思わなくなる

【焼き肉寿命】 51才4カ月

焼き肉がヘビーに感じて食べたいと思わなくなる

こんな事を調べて販促の役に立つのか?と思われるかもしれませんが、「60代の男女80%は肉料理が好き」というデータもあります。ここにビジネスチャンスがあるのでは?という事を目的にした調査です。

例えば、少量で良いから良質な肉を食べたい、健康的に肉を食べたいのでは?と仮説を立てます。そこで、減塩でこだわりの塩を使い値段は高いが、肉を美味しく食べられる大人向け調味料を作る等の企画を立てるなどです。

皆さんも様々な商品、サービスを扱っていると思いますが、参考にされてはいかがでしょうか?





社会奉仕委員長を仰せつかりました春日井です。どうぞよろしくお願ひ致します。今年度の社会奉仕委員会は、副委員長に草野勝彦さん、委員には小澤幸男さん、加藤巴千彦さん、青木靖高さん、林富徳さん、中原康雄さん以上7名の強力な布陣で活動してまいります。

さて、今年度の社会奉仕委員会としての活動は、クラブ計画書にも書きましたが、大きく4つあります。

- ①「危険ドラッグ撲滅」キャンペーンの実施
  - ②市内25 R.C. 社会奉仕委員会事業への提案
  - ③老人介護施設への慰問
  - ④環境保全に関する卓話の実施
- 以上の4つです。
- ①「危険ドラッグ撲滅」キャンペーンの実施

まず一番目として今年度の社会奉仕のメインイベントであります『ストップ・ザ「危険ドラッグ」』撲滅キャンペーンですが、丹下幹事の所見にもありましたように、田崎会長肝心のイベントであります。来年3月17日、オアシス21、イベント広場で開催します。企画は当然田崎会長が立てられました。危険ドラッグの危険性の周知、乱用拡大の防止を目的とし、アトラクション、展示コーナー等を設置、来場者にチラシを配布してアピールをするという一大イベントです。

今年に入って新年早々、会場：オアシスの確保、地区補助金申請、県や市への後援依頼と、会長・幹事に引張って頂き、稲本県議の後押しも頂き、5月には愛知県と名古屋市、警察の後援が決定し、地区補助金も承認、支給額も決定しました。昨日、厚労省も後援の承認を頂き、まもなく中日新聞の後援も承認頂ける予定です。

アトラクションとしては眞響が音楽隊の演奏と愛知県警察の広報大使「BOYS AND MEN」のショーなどで、1時間程度プログラムを埋めて頂けることになっていきます。今後は田崎会長に市内放送局に後援名義の使用と番組取材等をお願いしながら、当日のアトラクションやキャンペーンの進め方を具体的に詰め、地元企業にキャン

ペーンへの協賛参加を呼び掛ける案内を早急に作成する必要があります。特にこの企業協賛金の収入は予算に組み込まれていないので、緊急の課題であります。

現在の進捗はこんなところですが、3月17日の一日をどのよう組み立てていくか、イメージが自分の頭の中になかなか浮かんで来ません。このキャンペーンは田崎年度の最大の目玉です。社会奉仕だけではとても成し得られるものでは有りません。全員参加、クラブ挙げての取り組みが不可欠であります。会長・幹事も相談し、近々実行委員会を立ち上げたいとも考えております。是非とも、皆さんのお知恵なり、絶大な協力をお願いする次第です。

②市内25 R.C. 社会奉仕委員会事業への提案

次に、名古屋市内25 R.C.社会奉仕委員会事業への提案ですが、先月6月18日に新旧社会奉仕委員長会議がありまして、各クラブの支援提案事業が発表され、それぞれ支援額が承認決定されました。

今年度、当クラブは「全国どこも福祉センター」というNPO法人に対しての支援を提案致しました。このNPO法人はTVや新聞などで度々取り上げられており、週末の夜、繁華街でたむろしている若者たちへ、ボランティアの若

者たちが着ぐるみを着て直接声掛けをなぞしているグループです。家庭での虐待・貧困、学校でのいじめなど、様々な要因で孤立化する子供達を非行や犯罪に巻き込まれないよう自立支援に向けて様々な活動を展開している若い人達の団体です。支援提案は64万円で提出したのですが、今回、提案クラブが多かったため、予算配分等審査の結果、20万円の支援が決定されました。今後この法人の活動を見守って行きたいと思っております。

また、この全国どこも福祉センターの設立者で理事長でもある荒井さんは、大変お若いのですが子供達の為に一生懸命頑張っております。HPを見て頂くと分かりますが、子供達の立ち直りの為に様々な活動取り組みをしています。機会をみて、活動報告を兼ねた卓話をお願いしたいと思っております。

③老人介護施設への慰問

三番目ですが、恒例の老人介護施設へ音楽演奏による慰問活動を2回実施します。小澤幸男さんのハモンドオルガンをお借りし、懐かしい音色と歌で施設のお年寄りをねぎらうことができれば幸いです。9月27日(日)、西区中小田井の特養「庄内里」で1回目の慰問活動が決定しています。この日はなぜか例会変更にもなっています。

また、歌や演奏での慰問ですから、歌・合唱といえば、やっぱりシンガーズですね。ロータリーを代表するオオスシンガーズにも加わって頂き、お年寄りの感動の涙を誘って頂きたいと思っております。

④環境保全に関する卓話の実施

4番目の環境保全に関してですが、副委員長の草野先生の担当なのですが、私の勉強不足で、具体的にどう活動するか分からず、結局、環境に関連した卓話をお願いするところになったのですが、地区の委員の方にお願ひするよりは違う方の方が良いと思い、柴岡さんのご紹介で名城大学の環境工学の教授、水尾衣里さんに卓話をして頂くようお願いしております。楽しみにして頂ければと思います。

また、同じく環境に関連して、OSU山桜フィールドの継続整備をして頂いている猿投の森つくりの会がありますが、こちらの法人会員というのがあります。名古屋大須R.C.は法人会員になっていきますので、こちらへも参加して山桜フィールドの見学、また里山の保全の「苦勞等」を勉強したいと考えています。

それから、クラブ計画書には載せてはいないのですが、職業奉仕

委員会担当のチャリティーランですが、障害のある子供達への援助という主旨からすれば社会奉仕も応援する必要があると思います。私も職業奉仕委員長をさせて頂いた時は参加ランナーを集めるのに苦労しましたし、応援、参加されるメンバーも少なく盛り上がりに掛けるものだった思いがあります。先に紹介しましたNPO法人「全国こども福祉センター」に呼びかけて、子供達にランナーとして参加してもらい、ボランティアを体験してもらおうと考えています。

以上が今年度の社会奉仕委員会の主な活動計画と現在までの報告になります。ロータリーの社会奉仕は他の委員会活動の中でも、一番の外向きの活動です。皆さんがこの外向きの活動にこそって参加して頂ければこのパワーは地域、一般の方々にも伝わり、名古屋大須ロータリーが周知されることとなり、田崎会長の所見にも有りました、名古屋大須RCのボランティア「価値の向上」の一つとなるのではないのでしょうか。また皆様方の「超我の奉仕」を裏証して頂きたいと思えます。

そして、3月の危険ドラッグ撲滅キャンペーンはまさに田崎会長が仕組んだボランティアングそのものではないでしょうか。この事業

のもたらす効果はきつと大須RCの発展つまり会員増強へと大きくつながるものご確信するものです。是非、皆様のロータリー精神を発揮して頂き、さすが名古屋大須ロータリーと言われるように盛り上げ、協力をお願いする次第です。以上、今年度の社会奉仕委員会の活動にご指導、ご鞭撻を願ひしまして、所信とさせて頂きます。ご清聴有難うございました。

**委員長所見**

**国際奉仕委員長**

岡村 隆徳さん

(次号以降に掲載致します。)

**委員長所見**

**R財団・米山記念奨学委員長**

岩崎 征一さん



2015～2016年度のロータリー財団・米山記念奨学委員会は、私と横井衛さんとで企画運営させて頂いたと思いますので宜しく御協力のほどお願い申し上げます。

まず米山記念奨学委員会は、お

手元のクラブ計画書に記載されていますような3種類の寄付を皆様にお願ひ申上げたいです。当クラブでは 記念奨学事業にご協力いただき、米山功勞者になられた方は今までに41人おみえになりましたが、今年も、また米山功勞者になられてみえない方に、その趣意と目的を御理解いただき寄付をお奨め申し上げます。

改めて申し上げるまでも御座いませぬが新しい会員の皆様は簡単に説明申し上げますこの米山奨学事業は、今から55年ほど前、日本のロータリーの創始者・実業家米山梅吉翁の功績を記念し後世に残るような有益な事業を立ち上げたい、と言ふ事から発足しました。目的は、将来日本と世界とを結び「かけ橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することでした。これはロータリーの目指す2度と戦争の無い「平和と国際理解の推進」そのものが事業の使命でした。そしてその様な人材を外国人留学支援に求めました。

今では年間700名の留学生を支援しています。皆さんの寄付金はほとんどが此の支援事業の目的の為に使われますが、その額は2013年は年間約13億円で、また名古屋大須RCも含まれて13人の奨学生受け入れに協力致しております。

もつ1つの委員会活動はロータリー財団に対する寄付への御協力のお願ひです。

具体的にはクラブ計画書に記載しました5項目への寄付のお願いで御座いますが、ロータリー財団の奉仕活動は・ポリオ撲滅の為に役割を担う「ポリオプラスプログラム」があります。

また世界の平和や人道的教育的奉仕活動のリーダーを排出する役割を担う「財団奨学・学友・平和フェロー」の支援、名古屋大須RCは2015～17年度ロータリー平和フェロー澤屋奈津子さんを応援しています。

そして職業の中でも専門中の専門家チーム(VTT)を結成して活躍する人材育成を行い、世界平和等に貢献する役割を担う「職業研修チーム」の支援、4つ目に其の寄付金を補助金として様々な奉仕プロジェクトに活用推進して頂くための補助金プログラム等です。ちなみに名古屋大須RCは此のロータリー財団資金を活用して事業を継続して社会奉仕活動をしている事は周知の事ですが、2010年にさかのぼり継続的に地区補助金を6年間で2,326,156円受け取っています。2016度はストップ・ザ「危険ドラッグ」撲滅キャンペーンの事業です。既に地区補助金支給が約百万円で決定しています。

この様に名古屋大須RCの活動が継続されるためにも皆さんの御協力をお願い致します。

**派遣青少年交換学生壮行会**

田崎雅三会長より、派遣青少年交換学生の渡辺 玄くんへお餞別・ハナー・名刺・名古屋市長メッセージが手渡されました。



**派遣青少年交換学生挨拶**

渡辺 玄くん

皆さんこんにちは！今回ブラジル国サンパウロ州「フシカバ市」に派遣させて頂くことになりました、渡辺玄です。皆さんのおかげで、交換留学させて頂くことになりました。その事に、心から感謝申し上げます。

僕は、この名古屋大須ロータリ



ことが、とても嬉しいです。フリスルへ行つて、今回の文化を学んで帰ってくることはもちろんですが、フリスルへの恩返しの意味も含めて、少しずつ日本文化も紹介していきたいですね。これからの一年、頑張つてきます。また、こちらに来るエドワード君も、兼ねてこのお願ひします。ご清聴ありがとうございます。

### その他・お知らせ

#### ロータリーを呼びつ

(ロータリージャパンHPより抜粋)

#### ロータリーの徽章の歩み

#### ロータリー誕生の年に

#### 歯車も生まれた

世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905年(明治38年)ロータリー誕生の年に生まれてくる。これは、ロータリー最初のクラブの彫刻家であったモンターキュー M.ベアがシカゴの元気あふれる若い職業および専門職業者の新しいグループの徽章として、簡単に、かつ素朴な形の車輪を描いて、これをクラブに持参し提供したことに始まるのだ。創設者ポール・ハリスは、モンターキューに対し幾つかの試案の提示を求めた結果、ポールはじめ一同が一致して賛成したのが、この車輪である。つまり、車輪は皆

親じられた象徴であり、車輪は第一 Rotate たるからであった。これが今日、徽章として、道標として、カリスポタムとして、ネクターとして、その他例会の徽章に、壁掛けに、シターヘッドに、その他いろいろのロータリーを象徴する記号として使われている歯車の始まりである。

モンターキューの考案のままの車輪は、そのままで続かず、その後幾多の改良が行われ、いわばあまじり簡単すぎるという見地から、モンター・ベア自身から、車輪の下の部分に、雲のようなフサインを加えた。しかし、その後、幻燈のスライド製作者である Long Tom Philo は雲の部分をつらにつけてそのエッジを削り、これに Rotary Club の文字を入れた。つまり車輪が現実にも動いている体裁を整えたデザインにしたのであった。

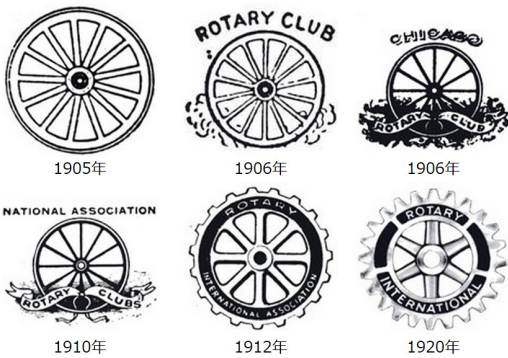
#### 独自の徽章を考案

この間、サンフランシスコ、オークランド、シアトルその他のクラブでは、車輪を取り入れて独自の徽章を考案して使っていた。1910年に16のクラブが連合して新しいナショナルアンシエーションを組織したのであるが、定款その他の規定の作成に忙しく、徽章のことに触れる余裕がなかった。本部はシカゴ・クラブの徽章を

何となく使っていたが、1912年トルースで連合大会を開催するに当たり、本部としてもこのままにはできないので、全体に共通する徽章のデザインを考案するよう全クラブに呼びかけた。しかし、もつたつた車輪を基本的なものとするに変わりはなかった。

かくして、トルースの大会においてロータリーは名実ともに国際的になったが、ロータリーはここに初めてローヤル・ブルー(濃藍色)と金色の歯車を正式の徽章として制定したのであった。

しかしその後専門家からこの歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの注意が出たので、二人の技術者(トルースの Oscar B. Borge ユナタの Charles Henry Mackintosh) からなる委員会が任命され、技術的に正確に動く歯車が検討された。



#### 楔穴を付け加え完成

この委員会が考案したデザインは1920年正式に採用公布となり、これが今日我々が親しんでいるロータリーマークであるが、ただひとつだけ違いがある。それは前記の人の委員が楔穴(Keyway)を見落としたことで、これがないと歯車は車軸からの(または車軸への)力を伝えることができない遊んでしまつてしまうのである。かくして楔穴も付け加えられて、歯車は休止することなく今日まで回転し続けていこうとされた。

この歯車に国際ロータリーとしては、一般的な解釈以外に何か特別の意義を持たせようとはなないかとよく問題になるが、公式にいつても何もない。しかし出来幾千のクラブが歯車のこの輪と24の歯に特別の意義を見だしている。

### 7月30日(木)例会の案内

#### ガバナー補佐訪問

西名古屋分区分ガバナー補佐 近藤 雅夫様  
地区スタッフ  
加藤 定江様  
分区分幹事 浦野 廣高様

#### 広報委員会

前田 隆又  
大澤 伸悟・杉浦 令淑  
\*本文は、原則 頂いた  
原稿を転載しています。